



愛ある生活を求めて

山形にお住まいのトップインフルエンサー、たまねぎさん。三頭のスタンダードプードルと四世代家族が紡ぐ穏やかな暮らし。

インフルエンサー **たまねぎさん**

撮影/たまねぎさん 文/azufeeling



まめちゃん(中央)とリックくん、がつくん



お孫さんのまめちゃん(4歳)とむぎくん(2歳)、
くうさん、リックくん、がつくん

いつか、外国映画のように犬とベッドで眠りたい…
叶えてくれたのはくうさんでした。

わ んこ界のトップインフル
エンサー、たまねぎさん。

3頭のスタンダードプードルと可愛いお孫さんお二人との日常をSNSで発信し、今やインスタグラムを中心としてフォロワー数は57・5万人を超える。

2007年に開設されたブログ『くろしろ²まめむぎ*スタンダードプードルと孫たちの成長日記』は、アメーバブログの公式トップブロガーにも認定され、書籍『大きなボク 小さなわたし』も大好評発売中である。

今回はオンラインで取材を重ね、たまねぎさんの私生活や人生観についてお話を伺った。

わんこ十ひと∞無限大

山形県山形市に暮らすたまねぎさん。ご家族は、スタンダードプードルの空(黒・14歳)、陸(白・12歳)、岳(白・3歳)、お孫さんの「まめちゃん」と「むぎくん」、息子さんご夫婦、たまねぎさんのご主人、お母さんの10人家族。ス

タンダードプードルたちの愛称は、空が『くうさん』、陸が『リックくん』、岳は『がつくん』である。

たまねぎさんはご自身の暮らす町について、自然豊かで四季折々の風景が楽しめ、長く住んでいるお家が多く、昔ながらのいいお付き合いのある田舎町だという。

幼少期から動物が大好きで、特に犬が好きだった。ところが家族はそうではなくて犬と暮らすのは夢のまた夢だったそう。そんな中、結婚で嫁いだ家には秋田犬がいた。それからは大好きな犬との生活が始まる。

夢は外国映画のように、犬と一緒にベッドで眠ること―

外飼いだっただ先住犬を経て出会ったのは、スタンダードプードルのくうさんだったという。

「その当時、外国映画のように、わんこと一緒にベッドで寝るのが夢でした。その夢を叶えてくれたのがくうさんです。」

最初は、髪の毛を噛まれたり大騒ぎをするなどして、一緒に寝る

なんて、遙か彼方の遠い夢でした。ところがある時自ら寄ってきて、体をくっつけてそのまま寝てしまったことがあります。その日を境に、くうさんは一緒に寝てくれるようになりました。

犬をベッドにあげる。一緒にベッドで寝る……。どことなく悪いことをしているような、そんな後ろめたいような気持ちを感じながら、一緒に眠れる幸せな夢が実現したことが嬉しくて嬉しくて、至福のときを過ごしていました。』

インフルエンサー誕生

長年の夢だった愛犬との暮らしをようやく叶え、幸せな日々を過ごしたまねぎさん。やがて息子さんが結婚し、息子さん夫婦や、これからの新しい家族の事を綴ろうとインスタグラムを開設。息子さんたちの結婚式が自宅庭での“うち”ウエディングだった為、その様子をインスタグラムにアップしたかったというのもきっかけだったそう。』

犬との接し方

お孫さんがママのお腹に宿った時、いち早く感じ取ったのは犬たちだったという。

「りっくんは、まめちゃんがお腹の中にいた頃から、よくママのお腹に顔をつけていました。その様子を私たち家族は、『交信している』って言うていました。

まめちゃんが生まれてから、くうさんもりっくんも、いつもまめちゃんを気にかけてくれるようになり、泣けば、一目散に駆け寄って私たちに知らせしてくれるし、寝ている時はそばに寄り添ってくれました。

一緒におもちゃの取り合いをしたり、一緒にご飯やおやつを食べたり、いつも一緒に育ちました。

大きく成長したまめちゃん。

最近では、まめちゃんにりっくんが甘える仕草をするようになりました。今までそんな仕草は一切せず、まめちゃんに甘えさせてい



そのインスタグラムは現在フォロワー数57・5万人を超え、お孫さんのお昼寝を犬たちが優しく見守る様子、まだ幼いお孫さんがリードを握ってお散歩させている姿、お孫さんに歩幅を合わせながら共に歩く犬たちの姿などが見られる。投稿には毎回多くのコメントが寄せられ、「癒された」「愛おしい」など数多くの声が届いている。

2007年に開設されたブログ(前述『くろしろ』まめむぎネスタウンダードブードルと孫たちの成長日記)も、日本中からたくさんのお愛犬家から質問や相談が寄せられている。

中でも犬と赤ちゃんが室内で一緒に暮らす事についての質問が多い。あくまでもたまねぎさん家族の場合は―という視点で、新生児の時は犬が赤ちゃんを舐めたらすぐに除菌シートでケアをしていた話など、さまざまな意見や読み手に寄り添う温かい投稿が連なる。文面から滲むたまねぎさんの人柄も、多数のフォロワーを集める理由のひとつだろう。

たりっくんが、自ら甘えるようになるなんて。

こうして孫とわんこの関係性も少しずつ変わっているようです。』

たまねぎさんはお孫さんが新生児の時からずっと、犬にもお孫さんにも同じように話しかけていたそう。犬たちには、「赤ちゃんは、まだ小さくて弱いので、だから優しくしてあげてね。大事にしてね」というように。お孫さんには、「毛を引っ張ったら、りっくん痛いよ。ぎゅーしたら痛いよ」と。

大きな犬たちと小さなお孫さんたち。お互いを思いやりながら暮らすご家族の様子をSNSから見る事ができるのは、たまねぎさんのこうした環境づくりの積み重ねによるものなのだろうか。

そんな幸せ溢れる日常にも、この家庭と変わらず乗り越えてきた数々の困難がある。その一つに東日本大震災があった。

震災を乗り越えて

「震災で家が孤立化し、義母さんを亡くし、悲惨な状態の中でも、くうさんがいてくれたから笑顔で乗り切れました。」

その後、震災の件もあって家を引っ越し、こうして四世代で楽しく暮らせているのも、その根本にはくうさんがいます。

私の人生を大きく変えたくうさん。その関係性は、奇跡のような関係性と言えらると思います」



たまねぎさんの言葉からは、愛

犬を含めた家族全員が、寄り添いあいながら乗り越え、重ねてきた日々の尊さが感じられた。たまねぎさんの中に、当たり前の日常、それもどんな些細なことでも一対する真摯な感謝が溢れている。

SNSから映る一見華やかで優雅な投稿の根っこには、たまねぎさんの実にシンプルな人生観があるようだ。

しあわせとは

「わんこたちは、私にとって大事な家族であり、相棒であり、最高の友だちと思っています。」

私が落ち込んでいるとき、泣いているとき、そっとそばに来て寄り添ってくれます。黙っていても一緒にいてくれます。毎朝、この子たちのおかげで笑顔で目覚めることができます。隣で天真爛漫な格好で、間抜けな顔をして寝ている姿は、毎朝笑顔運んでくれます。そして、夜も同じく、笑顔で眠りにつくことができます。



一日が、笑顔で始まり、笑顔で終わる。なんて幸せなことなんだろうと思います」

ただ同じ時を、そばで、笑顔で過ごせる事の幸せ。

取材を通し、たまねぎさんの人生観の土台がこの言葉にあると感じた。たまねぎさんが日々大切にしているのは決して難しい事や大きな事ではなく、今、目の前にある世界をしっかりと心の瞳で見つめて抱きしめることなのだろう。それは、騒がしいおもちゃの取

り合いで目覚める朝だったり、お孫さんや愛犬のお世話に奮闘した後、深夜やつと眠りにつく瞬間だったり。偶然のようで奇跡の出会いこそが『家族』というものであり、かけがえないもので、宝そのものであると。最後にたまねぎさんが人生で大切にしている事を伺った。

「人生も終盤。毎日を楽しみ、自分に正直に生きる。」
ということですよ」

その答えはまたしても実にシンプルで力強い。周囲や環境に重きを置くのではなく、いつでも自分で軸で自然体で生きること。たまねぎさんの生き方が表れている。今後もたくさんのフォロワーたちが、たまねぎさんのお孫さんと愛犬たちの成長を見守り、癒され、楽しませてもらえるのだろう。

コロナ禍の中、オンラインでの取材対応を快く引き受けてくださったたまねぎさん、本当にありがとうございました。ありがとうございました。

azufeeling

